

36 特発性間質性肺炎 臨床調査個人票

(1.新規)

ふりがな			性別	1.男 2.女	生 年 月 日	1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成	年 月 日生 (満 歳)
氏 名							
住 所	郵便番号			出 生 都道府県	発病時在住 都道府県		
	電話 ()						
発 病 年 月	1.昭和 2.平成	年 月 (満 歳)	初診年月日	1.昭和 2.平成	年 月 日	保 険 種 別	1.政 2.組 3.船 4.共 5.国 6.老
身体障害者 手 帳	1.あり(等級____級) 2.なし		介 護 認 定	1.要介護(要介護度____) 2.要支援 3.なし			
生 活 状 況	生活状況(1.就労 2.就学 3.家事労働 4.在宅療養 5.入院 6.入所 7.その他(____)) 歩行(1.自立 2.部分介助 3.車いす 4.全介助) 食事(1.自立 2.部分介助 3.全介助) 入浴(1.自立 2.部分介助 3.全介助) 排泄(1.自立 2.部分介助 3.全介助)						
家 族 歴	1.あり 2.なし 3.不明		受 診 状 況	1.主に入院 2.入院と通院半々 3.主に通院(____/月) ありの場合(続柄) (最近6か月) 4.往診あり 5.入院通院なし 6.その他()			
発症と経過(具体的に記述)							
【WISH入力不要】							
既 往 歴	(1)喫煙歴 1.あり(本× 年) 2.なし 3.不明 (2)粉塵吸引歴 1.あり(年) 2.なし 3.不明						
発 症	(1)発症時の年齢 1.50歳以上 2.50歳未満 (2)発症形式 1.慢性発症(3か月以上) 2.亜急性発症(1~3か月) 3.急性発症(1か月以内)						
主要症状及び理学所見(を含む2項目以上が陽性)				血清学的検査(1項目以上が陽性)			
捻髪音 (1.あり 2.なし 3.不明)				K L - 6の上昇 (1.あり() 2.なし 3.不明)			
乾性咳嗽 (1.あり 2.なし 3.不明)				S P - Dの上昇 (1.あり() 2.なし 3.不明)			
労作性呼吸困難(1.あり Hugh-Jones()度 2.なし 3.不明)				S P - Aの上昇 (1.あり() 2.なし 3.不明)			
ばち指 (1.あり 2.なし 3.不明)				L D Hの上昇 (1.あり() 2.なし 3.不明)			
呼吸機能(2項目以上が陽性)							
拘束性障害(%VC:80%未満) (1.あり(____%) 2.なし 3.不明)							
拡散障害(%DLco:80%未満) (1.あり(____%) 2.なし 3.不明)							
低酸素血症(以下のうち1項目以上)							
・安静時 PaO2 : 80Torr 未満 (1.あり(____Torr) 2.なし 3.不明)							
・安静時 AaDO2 : 20Torr 以上 (1.あり(____Torr) 2.なし 3.不明)							
・6分間歩行時 SpO2 : 90%未満 (1.あり(____%) 2.なし 3.不明)							
胸部X線画像所見(を含む2項目以上が陽性)				胸部H R C T画像所見			
両側びまん性陰影 (1.あり 2.なし)				胸膜直下肺底部の陰影分布 (1.あり 2.なし)			
中下肺野、外側優位 (1.あり 2.なし)				蜂巣肺 (1.あり 2.なし)			
肺野の縮小 (1.あり 2.なし)				牽引性気管支・細気管支拡張 (1.あり 2.なし)			
				すりガラス陰影 (1.あり 2.なし)			
				浸潤影(コンソリデーション) (1.あり 2.なし)			
病理学的所見(開胸又は胸腔鏡下生検)(IPF以外の確定診断には必須)				<参考>気管支肺胞洗浄液(BAL)			
1.あり (施行:平成 年 月 日) (方法:1.開胸肺生検 2.胸腔鏡下生検) 1.UIP 2.NSIP 3.OP 4.DIP 5.RB 6.DAD 7.LIP 8.その他()				1.あり 施行 平成 年 月 日 a.マクロファージ(%) b.リンパ球(%) c.好中球 (%) d.好酸球(%) e.CD4/CD8 (%)			
2.なし (略号右欄参照)				2.なし			

<参考> 経気管支的肺生検 (T B L B)				<参考> 血液学的所見			
1.あり 施行 平成 年 月 日 1.UIP 2.NSIP 3.OP 4.DIP 5.RB 6.DAD 7.LIP 8.その他 ()				リウマチ因子 1.陽性 2.陰性 R A P A () 抗核抗体 (倍) M P O - A N C A () C K (IU/l) その他 ()			
2.なし (略号右欄参照)							
鑑別除外診断							
心不全		1.鑑別できる 2.鑑別できない		薬剤性肺炎		1.鑑別できる 2.鑑別できない	
肺炎 (特に異型肺炎)		1.鑑別できる 2.鑑別できない		好酸球性肺炎		1.鑑別できる 2.鑑別できない	
既知の原因によるALI		1.鑑別できる 2.鑑別できない		びまん性汎細気管支炎		1.鑑別できる 2.鑑別できない	
膠原病		1.鑑別できる 2.鑑別できない		癌性リンパ管症		1.鑑別できる 2.鑑別できない	
血管炎		1.鑑別できる 2.鑑別できない		肺胞上皮癌		1.鑑別できる 2.鑑別できない	
サルコイドーシス		1.鑑別できる 2.鑑別できない		肺リンパ脈管筋腫症 (LAM)		1.鑑別できる 2.鑑別できない	
過敏性肺炎		1.鑑別できる 2.鑑別できない		肺胞蛋白症		1.鑑別できる 2.鑑別できない	
じん肺		1.鑑別できる 2.鑑別できない		ランゲルハンス細胞肉芽腫症		1.鑑別できる 2.鑑別できない	
放射線肺炎		1.鑑別できる 2.鑑別できない					
総合臨床診断							
1.特発性肺線維症 (IPF)							
2.IPF以外の間質性肺炎 (1.NSIP 2.AIP 3.COP 4.DIP 5.RBILD 6.LIP 7.その他 ())							
既治療							
1.あり		ステロイドによる治療 (プレドニゾロン換算 mg/日)		治療期間 平成 年 月 日 ~ 年 月 日			
		免疫抑制薬による治療 (種類 量 mg/日)		治療期間 平成 年 月 日 ~ 年 月 日			
2.なし							
新重症度		(平成 年 月) (1.度 2.度 3.度 4.度) 下記を参考に判定すること。					
医療上の問題点							
【WISH入力不要】							
医療機関名							
医療機関所在地							
				電話番号 ()			
医師の氏名							
				記載年月日:平成 年 月 日			
(軽快者の症状が悪化した場合のみ記載) 症状が悪化したことを医師が確認した年月日				平成 年 月 日			
特定疾患登録者証交付年月日				平成 年 月 日			

新重症度

医療費助成の対象は、診断基準を満たし、かつ重症度 度以上を満たす症例に限定される。

	安静時動脈血ガス	6分間歩行時SpO2
度	安静時PaO2 80Torr以上	
度	安静時PaO2 79～70Torr	90%未満の場合は にする
度	安静時PaO2 69～60Torr	90%未満の場合 にする (危険な場合は測定不要)
度	安静時PaO2 59Torr以下	(測定不要)

略号説明

IPF (idiopathic pulmonary fibrosis) 特発性肺線維症
病理組織像：UIP(usual interstitial pneumonia) 通常型間質性肺炎
AIP (acute interstitial pneumonia) 急性間質性肺炎
病理組織像：DAD(diffuse alveolar damage) びまん性肺胞傷害
COP(cryptogenic organizing pneumonia) 特発性器質化肺炎
病理組織像：OP(organizing pneumonia) 器質化肺炎
NSIP (nonspecific interstitial pneumonia) 非特異性間質性肺炎
DIP (desquamative interstitial pneumonia) 剥離性間質性肺炎
RB-ILD(respiratory bronchiolitis-associated interstitial lung disease) 呼吸細気管支炎関連性間質性肺炎
LIP (lymphocyte interstitial pneumonia) リンパ球性間質性肺炎

36 特発性間質性肺炎 臨床調査個人票

(2. 継続)

ふりがな			性別	1.男 2.女	生 年 月 日	1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成	年 月 日生	(満 歳)
氏 名								
住 所	郵便番号			出 生 都 道 府 県		発病時在住 都 道 府 県		
	電話 ()							
発 病 年 月	1.昭和 2.平成	年 月 (満 歳)	初診年月日	1.昭和 2.平成	年 月 日	保 険 種 別	1.政 2.組 3.船 4.共 5.国 6.老	
身 体 障 害 者 手 帳	1.あり (等級____級) 2.なし		介 護 認 定	1.要介護 (要介護度____) 2.要支援 3.なし				
生 活 状 況	生活状況 (1.就労 2.就学 3.家事労働 4.在宅療養 5.入院 6.入所 7.その他 (____))						初回認定年月	
	歩行 (1.自立 2.部分介助 3.車いす 4.全介助)			食 事 (1.自立 2.部分介助 3.全介助)			1.昭和 2.平成	
	入浴 (1.自立 2.部分介助 3.全介助)			排 泄 (1.自立 2.部分介助 3.全介助)			年 月	
受 診 状 況 (最近1年)	1.主に入院 2.入院と通院半々 3.主に通院 (____/月) 4.往診あり 5.入通院なし 6.その他(____)							
治療と経過 (前回申請からの変化を中心に具体的に記述)								
【WISH入力不要】								
総合臨床診断の変化								
1.変化あり 2.変化なし								
1.特発性肺線維症 (IPF)								
2. IPF以外の間質性肺炎 (1.NSIP 2.AIP 3.COP 4.DIP 5.RBILD 6.LIP 7.その他 (____))								
病状の改善・進行								
安静時動脈血酸素分圧濃度								
前回申請時 (平成 年 月) (Torr)								
今回 (6か月以内) (平成 年 月) (Torr)								
(10%以上の変化) 1.改善 2.悪化 3.不変								
胸部HRC T画像の変化(提出すること) 1.改善 2.悪化 3.不変								
安静時動脈血酸素濃度が不変あるいは悪化した場合は、病態の停滞あるいは進行と考えることができるが、他疾患 (病態) との合併を除外するため、胸部HRC T所見と総合的に判断する。								
治療 (最近1年以内の状況)								
ステロイドによる治療 (プレドニゾン換算 mg / 日) 治療期間 平成 年 月 日 ~ 年 月 日								
免疫抑制薬による治療 (種類 量 mg / 日) 治療期間 平成 年 月 日 ~ 年 月 日								
在宅酸素療法 治療期間 平成 年 月 日 ~ 年 月 日								

新重症度の変化			
	安静時PaO2	6分間歩行時SpO2	新重症度（表を参考に判定する。）
・前回（平成 年 月）（ ）Torr	（ ）%	（1. 度 2. 度 3. 度 4. 度）	
・今回（平成 年 月）（ ）Torr	（ ）%	（1. 度 2. 度 3. 度 4. 度）	
医療上の問題点			
【WISH入力不要】			
医療機関名	電話番号（ ）		
医療機関所在地			
医師の氏名			
印	記載年月日：平成 年 月 日		

新重症度

医療費助成の対象は、診断基準を満たし、かつ重症度 度以上を満たす症例に限定される。

	安静時動脈血ガス	6分間歩行時SpO2
度	安静時PaO2 80Torr以上	
度	安静時PaO2 79～70Torr	90%未満の場合は にする
度	安静時PaO2 69～60Torr	90%未満の場合 にする (危険な場合は測定不要)
度	安静時PaO2 59Torr以下	(測定不要)

略号説明

IPF (idiopathic pulmonary fibrosis) 特発性肺線維症
 病理組織像：UIP(usual interstitial pneumonia) 通常型間質性肺炎

AIP (acute interstitial pneumonia) 急性間質性肺炎
 病理組織像：DAD(diffuse alveolar damage) びまん性肺胞傷害

COP(cryptogenic organizing pneumonia) 特発性器質化肺炎
 病理組織像：OP(organizing pneumonia) 器質化肺炎

NSIP (nonspecific interstitial pneumonia) 非特異性間質性肺炎

DIP (desquamative interstitial pneumonia) 剥離性間質性肺炎

RB-ILD(respiratory bronchiolitis-associated interstitial lung disease) 呼吸細気管支炎関連性間質性肺炎

LIP (lymphocyte interstitial pneumonia) リンパ球性間質性肺炎